

校区で生活するなかで、どのお困りごとがありますか？
「質問1の項目」から浮かび上がる校区の姿

伊関校区：全体集計

1 家と地域社会：継承の危機

B003 家族・親族を主体とした家と地域社会の継承ができなくなってきたている。

A004 家族・親族を主体とした家の継承ができなくなってきたている。

002 子ども

の数が減つ

て、今後小

学校の存続

が心配。子

育てがしに

くい環境で

ある。(ひ

と)

014 頼れる

家族や親戚

が近くにい

ない人が多

い。(支

援)

007 自宅の

修理や空き

家の管理が

できていな

い。(くら

し)

002 子ども

の数が減つ

て、今後小

学校の存続

が心配。子

育てがしに

くい環境で

ある。(ひ

と)

003 住民同士の繋がり・支え合いの力

が、希薄にな

っている。

(ひと)

004 住民同士の交流が少な

く、住民同士の

繋がりが希薄で

ある。(ひと)

005 若い人が

いなくて地域の

行事や清掃がで

きない。地域活

動を支える後継

者がいない。

(ひと)

006 校区・集落の事業運営の負担

が、費用・労力の両面で重すぎ

る。

(ひと)

007 行事やイ

ベントが

多すぎる。(くら

し)

008 集落費

や校区費が

高い。(おか

ね)

009 行事やイ

ベントが

多すぎる。(くら

し)

010 行事やイ

ベントが

多すぎる。(くら

し)

011 働く場が

無く(少なく)

、賃金も少な

い。(おか

ね)

012 地域公共

交通等交通機関

の利用時間が合

わない。(交

通)

013 行きたい

ところに行ける

利用しやすい交

通手段がない。

(交通)

014 地域公共

交通等交通機関

の利用時間が合

わない。(交

通)

015 高齢者や

障害者など支

援の必要な方

を支援できる

人がいない。

(支援者)

016 若い人が

いなくて地域の

行事や清掃がで

きない。地域活

動を支える後継

者がいない。

(ひと)

017 道路が舗

装されていな

い。(防災)

018 その他の

2 地域共同体：解体の危機

C001 校区・集落の地域共同体が、解体の方向に傾きつつある。

B001 校区・集落の自治運営活動が、住民の重荷になっている。

B002 住民同士の繋がり・支え合いの力が、希薄になっている。

A003 校区や集落の地域活動をリードする人、支える人がいない。

004 住民同士の交流が少なく、住民同士の繋がりが希薄である。(ひと)

A002 社会的弱者の見守り・支援の体制が不十分である。

003 独居・単身者が多く、見守り体制が不安、不十分である。(ひと)

005 高齢者や障害者など支援の必要な方を支援できる人がいない。(支援者)

A006 校区・集落の事業運営の負担が、費用・労力の両面で重すぎる。

009 行事やイベントが多い。(くらし)

010 集落費や校区費が高い。(おかげ)

3 生活と生計：消滅の危機

C002 地域住民の生活と生計を支える産業が少ない。

008 スーパー

や商店がない

(少ない)。

(くらし)

4 交通手段：不便

A001 交通手段の利便性が悪く、望む行動が制約される。

■アンケート集計結果

ランク	得点幅	模様
A	153～190	■■■■■
B	109～152	■■■■■■
C	77～108	■■■■■■■
D	39～76	■■■■■■■■
E	1～38	■■■■■■■■■

伊関校区「地域づくりアンケート」回答結果

(2022年アンケート)

【分析結果】

「質問1の項目」（校区での生活の困りごと）から浮かび上がった校区の姿は、次のようにある。

「家と地域社会」「地域共同体」「生活と生計」の3つの要素が、相互に悪循環サイクルをなしている。

第1の「家と地域社会」は、「継承の危機」にある。家族・親族を主体とした家と地域社会の継承ができるなくなってきたている。

第2の「地域共同体」は、「解体の危機」にある。学校・集落の地域共同体が、解体の方向に傾きつつある。

第3の「生活と生計」は、「消滅の危機」にある。地域住民の生活と生計を支える産業が少ない。

これらがよって立つ基盤には、2つの側面がある。

一方は「交通手段」で、「不便」である。交通手段の利便性が悪く、望む行動が制約される。

もう一方は「防災対応」で、「手薄」となっている。道路基盤整備を含めた交通灾害・自然災害に対する防災が手薄である。

以上のように、現在の困りごとをこのまま放置すると近い将来、校区の地域社会の存続が危ぶまれる状況にされていることが、浮かび上がった。

- (1) 2021年7月7日
- (2) 情報工房
- (3) 校区アンケート「質問1」の質問17項目
- (4) 山浦晴男

注1) 文頭の数字は、質問項目の番号を示す。

注2) 文頭のアルファベットは、階層構造の段階を示す。

注3) 左上の丸数字は、分析結果の解説のストーリーの流れを示す。